

国労ちば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 加藤 晃一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043 (238) 5963
FAX 043 (238) 5967

退職まで笑って働く
環境をみんなで作る
国労運動

進む分会再編

千葉統合分会結成大会

7月24日千葉統合分会の結成大会が開催された。15名が参加し、委任状17名分を含めて大会が成立していることを確認した。

篠原さん(茂原分会)の進行で始まり議長には秋山さん(佐倉分会)が就任した。来賓の加藤委員長から挨拶を受けた後、議題に入り、規約の確認、予算案、運動方針(案)が議論され、それぞれ承認された。総勢42名の大きな分会となり、新役員体制は以下の通りとなった。



運輸区統合分会結成大会

7月24日運輸区統合分会の結成大会が開催された。参加者は13名で、当日勤務者などからの委任状提出を含めて大会が成立していることを確認し議事が進行された。

司会進行は小川さん(鴨川運輸区分会)、議長には小沢さん(習志野

への感謝とお礼の挨拶。その後議題に入り、規約の確認、予算案、運動方針(案)が議論され、それぞれ満場一致の拍手で承認された。議論では、ラストランの取扱いや組合掲示板の扱い、その他業務時間などの労働条件、65歳以降の雇用エントリ制度の問題などが出され、8月の運用改訂含めて要求を集約す

第77回定期地方大会

日時：9月9日(土) 10時30分～

受付：10時～

場所：千葉市民会館第5会議室



る事が確認された。なお、新役員体制は以下の通り

- | | |
|------|-------|
| 分会長 | 竜崎 好暢 |
| 副分会長 | 小川 一彦 |
| 書記長 | 西谷 政記 |
| 執行委員 | 名島 孝志 |
| 執行委員 | 鈴木富士夫 |
| 執行委員 | 川口 正己 |
| 執行委員 | 名雪 勝男 |

会計監査員 飯高聡明
会計監査員 浅野勝美

新分会長の団結がんばろうで大会は終了、その後第1回の執行委員会が開催され、早速今後の取扱いについて議論がされた。

これにより運輸区統合分会は、総勢43名の分会となり、体制強化が図られた。



※「千葉運輸区新聞」、「蘇我運輸区分会ニュース」は一旦幕を閉じたが「運輸区とうごう」、「SOGA班新聞」が新たに創刊された。

合団燈

私が国労に入り6年が経とうとしている。青年部として今の状況について説明をしたい。◆私は千葉地本で青年部として活動しているが、若い仲間を私を含めて4人しかいない。今の国労組合員は60代以上が大半を占めており、残り5年以内にはほとんどの組合員が退職を迎えてしまう。◆今の青年部はベテラン組合員のサポートがあつてこそ活動できていると思うが、各現業事務所にはベテラン社員がおらず、業務にも影響が出ているのが現状だ。最近では本体エルダー社員として職場に残れず、ほとんどの社員が20・30代になっている。JRは機械化を取り入れているため、ベテランを残していないのかもしれない。◆メンテナンス面としての機械での管理、紙での管理双方ともいいところはあつた。機械管理は、少人数で作業効率があがり紙管理はミスが少なく、正確に管理できる。◆今の人数での作業効率を考えると機械化もしたくないと思うが、人数が少なすぎる。もっと要員を増やしていかなければいけない。そのためにも組織拡大は必須だ。国労組合員は一致団結して頑張っていこう！ (秀)

千葉設備分会結成大会

7月9日(土)14時より地本会議室において千葉設備分会結成大会が開催された。



永野千葉工務協副議長が議長に就任し「6年前に分会統合をおこなった分会もあった。地域を中心とした木更津分会に統合された旧保線分会(木更津保線分会と館山保線分会)もあ



るが、組織状況を将来的に考えると千葉地本の設備職場が1つの分会として進めていかなくてはいけない」と開会挨拶。

森田工務協議長より「分会再編という形を踏まえて『集まれる機会が少なくなってしまうのでは』という懸念があるが、この間、工務協としても月1回の常任委員会を開催してきた。これをベースとしながら執行委員会など集まれる場を設け、新たな運動を構築していきたい」と挨拶。

地本を代表して北嶋書記長からは「千葉地本内は分会統合で7つの分会となる。新たな分会が結成されるが平成採用者はごく少数だ。この先、どう組織拡大していくかが課題である。千葉地本の組織数は200名を割ってしまった。今年の東日本大会の中では「首都圏と東北」という2つの地本になる提案がされる予定だが多くの労働者の結束を目指して頑張ろう」と情勢報告を含めた挨拶を受けた。

この後、議題に入り工務協後事務長より分会再編や財政などの提案がされた。この中で、千葉設備分会は旧木更津保線分会や旧館山保線分会(木更津分会を除く千葉地本内の4保線分会や土木・建築・電気分会を統合した分会であるが、「今後は各旧分会が積み立ててきた財政を基にどの様にして運動を展開していくのか」などが議論された。

最後に森田新分会長より「団結カンパニー」を三唱し幕を閉じた。その後は、近くの店で懇親会を開催した。

新執行部役員体制
執行委員長 森田誠一
執行副委員長 嶋田福実
書記長 海後 隆
執行委員(財政) 三好 亨

最後に森田新分会長より「団結カンパニー」を三唱し幕を閉じた。その後は、近くの店で懇親会を開催した。

気温が35度以上の猛暑日数が過去最高となり「危険な暑さ」という言葉をよく耳にするようになった。熱中症による部活中の死亡など悲しいニュースが報道されることもある。毎年のように「過去最高」、「かつてない」という言葉を聞き、日本の夏は厳しさを増すばかりだ。連日のように車内・ホーム上急病人という情報が飛び交っている。一概には言えないが暑さと無関係ではないだろう。その度に駅社員・乗務員が対応し列車の遅延を最小限に抑えるべく奮闘している。

若者よ、話をしよう

JRが運営する駅より委託駅のほうが多くなり一人、もしくは時間帯により一人勤務という駅も珍しくはない。急病人など何かあった際に一人ではできることも限られ、時間を要することもある。運輸区統合分会SOGA班新聞にも掲載されていたがイノシシの生息範囲が拡大し、列車の運行にも支障をきたしている。今までなかったことが日常的になり、その対応には人の力が必要だが現状はどうだろう? 駅の一人勤務やワンマン運転など真逆の施策が進められている。

若し社員は「今が当たり前」と思っているが決してそうではない。若手社員と共に「進められてきた施策とその結果もたらされた現状」を話し合い、世代間のギャップを埋めていくのは重要なことであり、そのためにも組合活動は必要だ。会社に都合の良いことばかりを若手社員同士で共有するのではなく過去を知るベテラン社員と話をしよう。

スポーツ競技によつては「給水タイム」が設けられているが、それも最近になってからのことだ。過去を知り今を考えるのは決して悪いことではない。

今後には駅窓口、券売機前での案内や対応に追われることが予想される。発売中止にする

半導体不足の波が

新型コロナウイルスによる世界的な半導体不足はありとあらゆるものに影響を及ぼしている。

SuicaなどのICカードもその例外ではなく6月から無記名Suicaの新規発売を中止したが、8月2日より個人情報紐づけした記名式Suicaも小児用以外は発売中止となった。外国人旅行者が増え、



2023千葉県団結まつり
2023年10月15日(日)11時30分~
京成労働会館3階ホール(受付 11時~)

飲食あり!

(2022団結まつり)

**共闘の仲間とともに連帯の輪を広げよう!
大抽選会もあり!**

だけでなく、負担が増える現場への対応も合わせて講じるべきだ。「旅の良き思い出」を現場社員にだけ押し付けられるのは勘弁してほしい。

